



県民の森 植物紹介

(45)

アズキナシ (バラ科)



冬も雪景色のなか残っている実のひとつ、アズキナシ。ナシに似た白い可憐な花を咲かせて、秋に出来る赤い実の表面にはナシのような白い皮目があること、そして実が「小豆」に似ていることが名前の由来です。実は食べられますが、酸っぱくて少し苦味があるので、果実酒にして楽しまれています。

葉には 10 ～ 13 対の規則正しい葉脈がはっきりと入って、葉の裏側に突出しています。このため、「はかりのめ」という別名をもっています。

材は、硬くて重く良材で、建築、家具、道具の柄、槌などの器具などに用いられています。流通量が少ないため、一般的には知られていないようです。

園内では、昭和の森で見ることが出来ます。冬に出会う赤い実はとても美しいです。



冬芽

2月28日



新葉 2020年5月28日



花 2020年6月2日



若い実 2020年9月16日



冬も残る実 2021年1月14日